

三谷太一郎・松尾尊兌両先生は、「吉野作造選集」(岩波書店)の共同編集のお仕事をなさいました。両先生の吉野作造に関連するものには以下の著書があります。

三谷太一郎著

『新版大正デモクラシー論

—吉野作造の時代—

(東京大学出版会)

松尾尊兌著

『民本主義と帝国主義』 (みすず書房)

**歌と朗読 お話でつづる**

井上ひさしさんの

楽しく 深い 言葉の世界

■日時 七月十八日(日)

午後二時〜四時

■会場 片平市民センター第一会議室

**プログラム**

一、お話

井上ひさしさんと九条せんべい…

瀬川 満夫

二、歌 「ひよっこりひようつたん島」

歌 齋藤 翠

樋口 由希  
山口 真理  
ピアノ 林田 誠子  
「ドン・ガバチョの未来を信じる歌」  
歌 齋藤 信二

三、朗読 井上ひさし作「兄おとつと」より

朗読 菊地 良一

松尾 重信

玉懸 洋子

四、お話 井上ひさしにとつての吉野作造

永澤 汪恭

五、朗読 井上ひさし作

『きらめく星座—

昭和オテオン堂物語』より

朗読 大野 貴子

梶谷恵美子

田部井秀子

白鳥 浩

二・三の出演者

オカリナ 瀬山由規子

**〈予告〉 本会主催**

韓国併合一〇〇年

吉野作造の朝鮮観に学ぶ集い

■日時 十月十日(日)二時〜四時

■会場 片平市民センター第一会議室

この集いに、山田昭次(立教大学名誉教授)先生よりメッセージを寄せていただいておりますが、次号でご紹介いたします。尚先生は「関東大震災・朝鮮人虐殺は『正当防衛』ではない」(『世界』2010・10月号)を発表されています。

**編集後記**

▼韓国併合一〇〇周年の年に、吉野作造の朝鮮観を特集した第十二号を発行できたことは感謝です。

▼何よりも小誌の願いをご快諾下さり、書き下ろしの玉稿をお寄せいただいた松尾尊兌先生に心より厚く御礼を申し上げる次第です。

▼また祇園寺則夫先生にもご尊父信彦先生の玉稿の転載をお許しいただき心より厚く御礼申し上げます。

▼読者の皆様が今号を通し、さらに吉野の朝鮮論に一層の関心を強めていただければ光栄です。

<b>吉野作造通信 第12号</b>	
2010. 10. 8	
発行者 「吉野作造通信」を発行する会 事務局 〒982-0836 仙台市太白区八木山 永澤 汪恭 電話・FAX (022) 219-0524 松波町七の二四	発行所 永澤 汪恭